

別添 9 : NGO 事業補助金交付先 NGO への質問票 1

OPMAC 宛 (Fax: 03 - 3292 - 2847)

貴団体名 : (社)銀鈴会
アンケート回答者名 : (プロジェクト外担当者か否か? はい、いいえ)
記入日 : 月 日

(1) プロジェクトの概要の確認

プロジェクト名	医療事業(障害者復帰事業)
補助金利用年度	2000年度のみ
現地カウンターパート組織名+代表者+連絡先	Philippine Laryngectomee Club Mr. Rene S. Tuazon, Department of Otolaryngology, Philippines General Hospital, Taft Avenue, Manila Tel: 632-634-4420, Fax: 632-439-6567
カウンターパートの組織図がありますか?	あり、なし、 あれば、コピーを添付してください。
プロジェクトに関与したスタッフの数	日本側: 名 フィリピン側: 名
プロジェクト運営に関わる組織図はありますか?	あり、なし、 あれば、コピーを添付してください。
日本 NGO と現地 NGO とのプロジェクトへの関与の仕方について違いを教えてください。	
プロジェクトの目標(一言で簡潔に述べてください。)	
途中でプロジェクトの内容に変更はありましたか?	

(2) プロジェクトの成果について、プロジェクトの活動の項目ごとに記入して下さい。

A (a) 成果1：(活動 No.1 に対する成果について教えて下さい。)

活動 No.1の内容：

喉摘者に対して、Veterans Memorial Medical Center の診療所でリハビリテーションを行う。

活動の成果(パフォーマンス)を計る指標または、活動の達成の目標値は設定しましたか？
設定してあれば設定値と実績値を記述して下さい。男女で分けられる数字は分けて下さい。

成果の指標	目標値 (年 月)	実績値 (年 月)

(b) スケジュールについて

予定していたスケジュールと実際のスケジュールに遅れはありましたか？あった場合は何故ですか？予算的な問題は生じましたか？どのように対策を取りましたか？

プロジェクトの完了はいつですか？現地 NGO プロジェクトの終了時期、貴日本 NGO の引き上げ時期について教えて下さい。

(c) その他

活動から成果を出すに当たり問題はありましたか？

活動の目標を達成するためにその成果の達成度は充分でしたか？5段階評価して下さい。
○を付けてください。

1	2	3	4	5
低				高

その他我々評価団が留意すべき点があれば教えて下さい。

B (a) 成果 2: (活動 No.2 に対する成果について教えてください。)

活動 No 2 .の内容:

現在 10 名しかいないインストラクターを養成すること。

活動の成果(パフォーマンス)を計る指標または、活動の達成の目標値は設定しましたか？
設定してあれば設定値と実績値を記述して下さい。男女で分けられる数字は分けて下さい。

成果の指標	目標値 (年 月)	実績値(年 月)

(b) スケジュールについて

予定していたスケジュールと実際のスケジュールに遅れはありましたか？あった場合は何故ですか？予算的な問題は生じましたか？どのように対策を取りましたか？

プロジェクトの完了はいつですか？現地 NGO プロジェクトの終了時期、貴日本 NGO の引き上げ時期について教えてください。

(c) その他

活動から成果を出すに当たり問題はありましたか？

活動の目標を達成するためにその成果の達成度は充分でしたか？5段階評価して下さい。
○を付けてください。

1	2	3	4	5
低				高

その他我々評価団が留意すべき点があれば教えてください。

(3) 計画の妥当性について

(a) 計画の過程について

貴団体または、現地パートナーのどちらが主導権をとって、プロジェクトを計画したのですか？ 貴団体と現地パートナーの役割について教えて下さい。

また、計画に参画したのは誰ですか？ 地域住民または、プロジェクトの受益者の参加はありましたか？

計画時に人々または、プロジェクト対象者のニーズはどのように分析しましたか？ また、プロジェクトによって影響を受ける人たちに関する分析は行いましたか？

計画時に地域の保健衛生状況等の十分なデータは収集されましたか？ どのように収集しましたか？

計画時に何か問題点はありませんでしたか？ 今振り返って、プロジェクト形成過程は充分に行われたと思いますか？

計画時に何か論理的な計画手法（例、ロジカルフレームワーク¹、プロジェクト・サイクル・マネージメント手法（PCM 手法）等）は使われましたか？ あれば教えて下さい。

(b) 計画について

現地の人々のニーズを反映したものでしたか？ 国家開発計画、地域政策等との関連性がありましたか？

住民の自助努力、自立、住民のプロジェクトへの参加等が計画の中に盛り込まれましたか？

¹ プロジェクトの構成領域（目的、目標、成果、活動、投入など）の相互関係に論理的一貫性と合理性を持たせることを目指した計画手法のこと。

計画に改良の余地はありましたか？または、次の計画に生かせる改善点がありますか？

計画時にリスクの可能性は検討されましたか？それは何でしたか？今でもそのリスクはありますか？新たに生じたリスクはありますか？どのようにリスク管理をしていますか？

プロジェクトの目標や内容の策定に当たり、プロジェクトサイトにおける他のドナーや NGO 活動とのかかわりを考慮しましたか？また、他の NGO 活動からの教訓を生かしましたか？

プロジェクトの内容は、貧困削減ということを考慮していますか？貧困を計る指標は想定しましたか？あれば教えて下さい。

女性にが裨益するよう配慮は行われましたか？どのように配慮が行われましたか？

上記について何か参考にしたガイドライン等がありますか？

モニタリングのフレームワークは作成されましたか？そのときのパフォーマンスの指標があれば教えて下さい。また、それらは適切に設定されていたか？

(c) その他

プロジェクトの妥当性を上のことから総合的に判断し、5 段階評価すると、妥当性はありましたか？妥当性が高いか、低かったか以下に○を付けてください。

1	2	3	4	5
低				高

(4) マネージメントとコーディネーションについて

現地パートナーと貴団体との業務連絡は充分でしたか？現地パートナーが貴団体へレポートを定期的に提出したりしましたか？

現地パートナーと貴団体とのプロジェクト進捗における役割の違いを教えてください。何か役割分担において問題がありましたか？貴団体は現地パートナーの組織能力を高めることにどのように貢献しました？貴団体が参加したことで、プロジェクトにどのような便益を与えましたか？

外務省の事業補助金を使用するにあたり、問題点や不都合な点がありましたか？改善点があれば教えてください。

現地で地方自治体や政府機関との連携はどのように行われましたか？それらは上手くいきましたか？改善点はありますか？また、フィリピン政府から何か支援を受けましたか？

プロジェクトに対する住民の参加または協力はどのように得られましたか？

現地ではこの事業が日本外務省の補助金を受けていることが、知られていましたか？

総合的に判断して、マネージメントとコーディネーションについて、良好であったか否か5段階評価し、以下に○を付けてください。

1	2	3	4	5
低				高

(5)インパクトについて

プロジェクトのインパクトを図るために、どのような指標が考えられましたか？または考えられますか？その数値予測値と実績値を教えてください。(例：○○地区の住民の就学率が向上する。○○の所得が向上する)

プロジェクトが完成しどのようなインパクトが在ると思われますか？(例：国家開発政策に○○に対する施策が盛り込まれる。)

プロジェクトが完成し、どのような人々にどのような便益があると考えられますか？列挙して下さい。また、もっとも便益を受けるのは誰でしょうか？

貧困削減がこのプロジェクトの目標でしたか？そうであれば、生活水準の向上はこのプロジェクトのおかげで達成されましたか？

想定されていなかったインパクトはありましたか？(肯定的なものも否定的なものも含む)

プロジェクトコストについて、その範囲やレベルは、期待された便益に対して適切でしたか？

総合的に判断して、プロジェクトは正と負のインパクトのどちらが大きかったですか？正のインパクトが大きかった場合にインパクトが高いと考えて、5段階評価し、以下に○をつけてください。

1	2	3	4	5
低				高

(6)持続可能性について

(a) 事業の持続可能性について

当事業の持続可能性について、どのような戦略を持っていますか？いつ頃引き上げる当の
時期的な戦略はありますか？または、ありましたか？または、今後の活動の持続のために、政
府組織または NGO に活動を託す予定ですか？方針を教えてください。

(b) プロジェクトによる便益の持続可能性について

プロジェクトによる便益をどのように持続させていくつもりですか？例えば裨益者からのプロ
ジェクトへの積極的な活動への参画はありますか？貴団体の関与が終わった後は、便益を彼ら
の間で持続させて行くことができるでしょうか？彼らは向上した知識、技術を十分に維持して行く
でしょうか？

現地パートナー等の関連組織は、プロジェクトを持続していくという意味で能力強化されまし
たか？または何が限界があれば教えてください。

資金面から見て、NGO 事業補助金を受けなくなった場合、活動を継続していくための資金は
十分ありますか？または、継続事業の実施のために何処から資金を集めてきましたか？

用いられた技術は、活動や便益の持続可能性といった観点から見て、妥当でしたか？

持続可能性について調査団が留意しておく点があれば教えてください。

総合的に判断して、持続可能性について、どのように評価しますか？持続可能性が高いか低いかに5段階評価を行い、以下に○を付けてください。

1	2	3	4	5
低				高

(7) 総合評価

(1)から(6)までを総合して、当プロジェクトの評価は5段階評価すると、いくつですか？

1	2	3	4	5
低				高

(8) その他 教訓

プロジェクトの内容や進捗過程において一般的なコメントがありましたらぜひ教えて下さい。

今、このプロジェクトを振り返って、プロジェクトの戦略や方法をどのように評価しますか？このプロジェクトの長所は何でしたか？弱点は何でしたか？限界はありましたか？

貴団体はこのプロジェクトを通じて、開発援助一般について学んだ点があれば教えて下さい。

このプロジェクトに関して、今まで述べられてこなかったことであげておきたい点があれば記述して下さい。

ご協力どうもありがとうございました。